

平成 23 年度 結核患者接触者健診における QFT-TB Gold 法による検査状況

築地 裕美 田内 敦子 京塚 明美 井澤 麻由
伊藤 文明*1 橋本 和久*2

はじめに

結核の接触者健診の目的は、発病前の潜在性結核感染症の早期発見、新たな発病者の早期発見および感染源・感染経路の探求の3つである。

近年、既往の BCG 接種の影響を受けずに結核感染の有無を検査できるクオンティフェロン(QFT)検査が開発され、広く普及している。当所においても、行政検査として QFT 検査を実施している。

今回は、平成 23 年度に QFT-G を用いて実施した結核患者接触者健診検査の状況および結果について報告する。

方 法

1 材料

平成 23 年度に対象となった患者 79 名の接触者 615 名について、各区保健センターにて採血して QFT 検査に供した。

2 検査方法

QFT-G 検査キット(cellestis 社製)を用い、インターフェロンの定量を行った。

3 判定結果の検討

接触者 615 名の年齢分布および接触状況を同居または別居家族、友人、同僚、学校関係(同級生等)、医療従事者、病院・施設職員、介護、病院・施設同室、施設利用者、実習生およびその他の 12 区分に分類し、判定結果との関係についての検討を行った。

結 果

1 事例概要

患者は、15 歳～99 歳(平均 64.6 歳)の 79 名(男性 40 名、女性 35 名、不詳 4 名)であった。

患者の約 6 割を 60 代以上が占め、その半数が 80 代(23 名、29.1%)であった(図 1)。また、ガフキー号数は 2 号が 22.8%(18 名)と最も多く、5 号(10 名、12.7%)、1 号および 4 号(各 9 名、11.4%)の順に多かった。

さらに、平成 23 年度は集団感染事例が 3 件発生した(表)。

2 接触者健診 QFT 検査結果

平成 23 年度は、家庭や会社等での接触者 5 歳～69 歳(平均 35.5 歳)の 615 名を対象に実施した。

(1) 判定結果

結果は、陽性 89 名(14.5%)、判定保留 50 名(8.1%)、陰性 471 名(76.6%)、判定不可 5 名(0.8%)であった。

(2) 事例別判定結果

判定不可例を除いて、全て陰性となった事例数は 42 事例(53.2%)、陽性または判定保留を認めた事例数は 37 事例(46.8%)であった。その内訳は陽性のみが 11 事例(13.9%)、判定保留のみが 14 事例(17.7%)、陽性および判定保留ともに認められたのは 12 事例(15.2%)であった。

(3) 年齢分布および接触状況

接触者の年齢は、10 代(134 名、21.8%)、20 代(129 名、21.0%)、40 代(101 名、16.4%)の順に多かった(図 2)。また、年代別の陽性率は 60 歳以上(27.5%)、20 代(22.5%)、50 代(17.7%)の順に高かった。一方、判定保留率は 20 代(14.7%)、50 代(8.9%)、30 代(8.0%)の順に高かった。

接触状況は、同僚(143 名、23.3%)、学校関係(119 名、19.3%)、医療従事者(91 名、14.8%)の順に多かった(図 3)。また、接触状況別の陽性率は施設利用者(32.6%)、同僚(21.7%)、同居家族(15.0%)の順に高かった(図 4)。一方、判定保留率は同居家族(17.5%)、友人(16.7%)、医療従事者(14.3%)の順に高かった(図 4)。

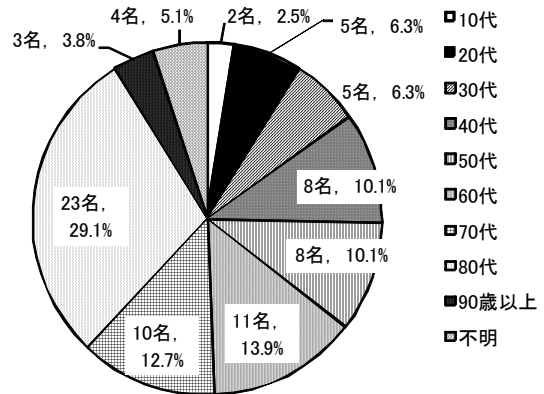


図 1 患者の年齢別割合

*1: 現 南区役所厚生部健康長寿課

*2: 退職

表 集団感染事例の QFT 検査概要

	病院	学校	会社
初発患者	年齢・性別 40 代男性	10 代女性	20 代外国人女性
	ガフキー号数 5	8	2
	臨床診断名 肺結核	肺結核	肺結核
患者との関係	病院職員・施設利用者等	家族・学校関係者等	同居者・同僚等
年齢 (平均)	26 歳～69 歳 (55.4 歳)	13 歳～56 歳 (14.7 歳)	19 歳～57 歳 (28.4 歳)
QFT 実施人数	52	121	63 (外国人：44, 日本人：19)
陽性者数 (%)	15 (28.8)	13 (10.7)	31 (49.2)
外国人 (%)	-	-	26 (59.1) [†]
日本人 (%)	-	-	5 (26.3) [†]
判定保留者数 (%)	3 (5.8)	3 (2.5)	7 (11.1)
外国人 (%)	-	-	6 (13.6) [‡]
日本人 (%)	-	-	1 (5.3) [‡]
発病者数	1	1	2
感染者数	14	14	8

[†]外国人：26 名/44 名中, 日本人：5 名/19 名中 [‡]外国人：6 名/44 名中, 日本人：1 名/19 名中

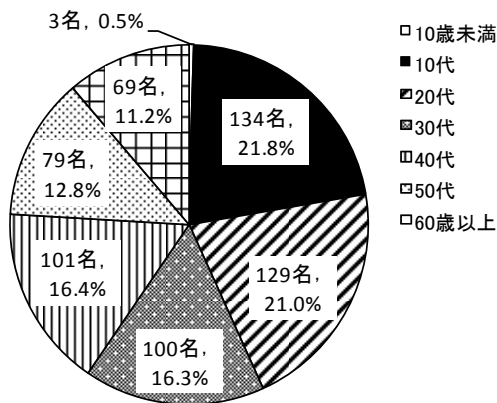


図 2 接触者の年齢別割合

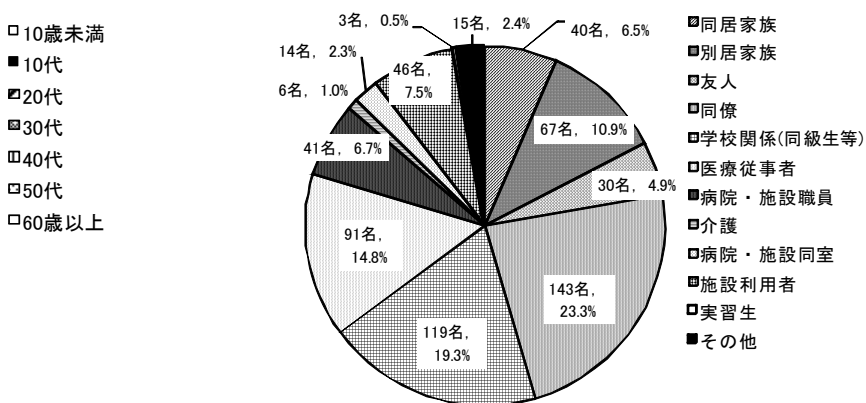


図 3 接触状況別割合

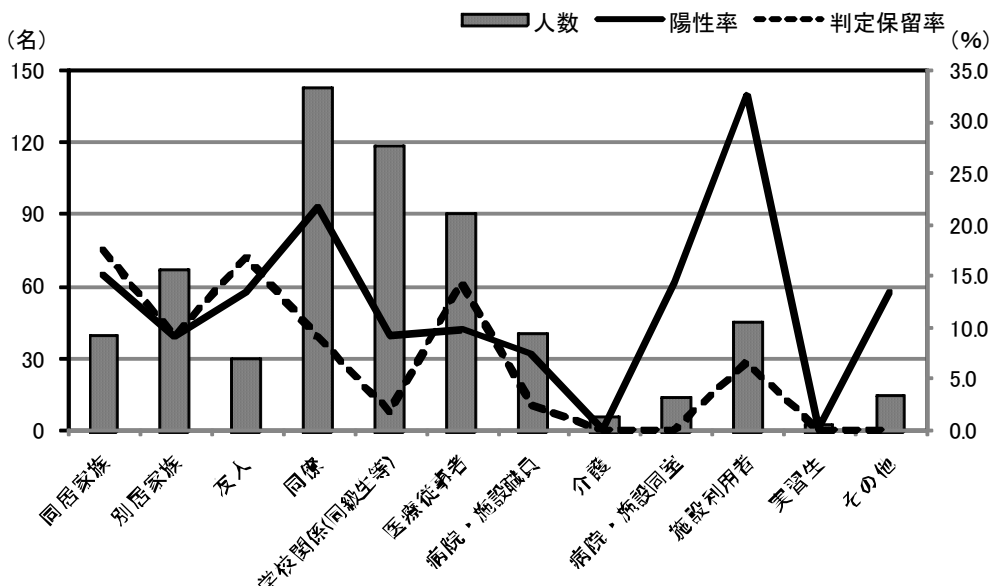


図 4 接触状況と陽性率および判定保留率